

# 川島町下水道事業 令和5年度上半期 業務状況について

川島町下水道事業における令和5年度上半期(令和5年4月1日～令和5年9月30日)の、業務状況をお知らせします。

川島町内で生活や事業などによって発生する汚水は、下水道処理区域(主に市街化区域)では下水道管内を流れて和光市の県処理施設まで行き、きれいな水にして河川に放流しています。(下水道処理区域外では、各家庭に設置された合併処理浄化槽などで処理して、放流します)

## 1 業務量 (前年度同期との対比)

	9月30日現在 (a)	前年度同期 (b)	(a)(b)対比	
			増減(c=a-b)	比較(c/b)
行政区域内人口	18,947 人	19,240 人	△ 293 人	△ 1.52 %
処理区域内人口	9,861 人	9,650 人	211 人	2.19 %
水洗化人口	9,670 人	9,448 人	222 人	2.35 %
普及率	52.0 %	50.2 %	1.8 ポイント	3.59 %
水洗化率	98.1 %	97.9 %	0.2 ポイント	0.20 %
汚水処理水量	800,425 m <sup>3</sup>	841,223 m <sup>3</sup>	△ 40,798 m <sup>3</sup>	△ 4.85 %
有収水量	684,770 m <sup>3</sup>	692,057 m <sup>3</sup>	△ 7,287 m <sup>3</sup>	△ 1.05 %
有収率	85.6 %	82.3 %	3.3 ポイント	4.01 %

※ 「処理区域内人口」「水洗化人口」について、算定に用いる数値を最新の内容に更新したため、更新前の数値を用いて算定した前年度同期との差が大きくなっています。

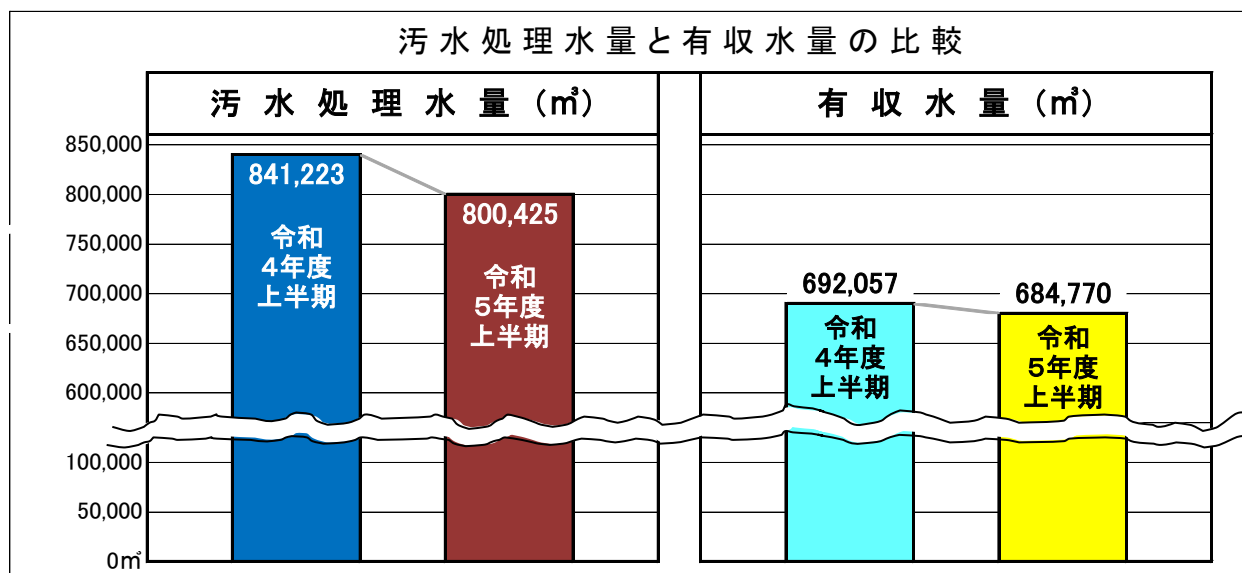
### 業務量用語の解説

「処理区域内人口」 下水処理区域に居住する人口の集計です。

「水洗化人口」 処理区域内で、下水道に接続している人口の集計です。

「汚水処理水量」 和光市の下水処理場で処理した汚水量です。

「有収率」 処理した汚水のうち、使用料の対象となる有収水の割合です。この値が低い場合、汚水以外(雨水や地下水など)の使用料の対象とならない不明水が混入している状態で、効率的な維持管理ができていないことになります。



## 2 当期中における経理の状況

### (1) 資金の収支状況

前年度繰越金 入 金 出 金 当期末現在高（現金預金残高）  
 417,831,746 円 + 214,951,047 円 - 455,202,014 円 = 177,580,779 円

※ 当期末現在高は前年度繰越金より 240,250,967 円減

### (2) 予算と事業収支状況

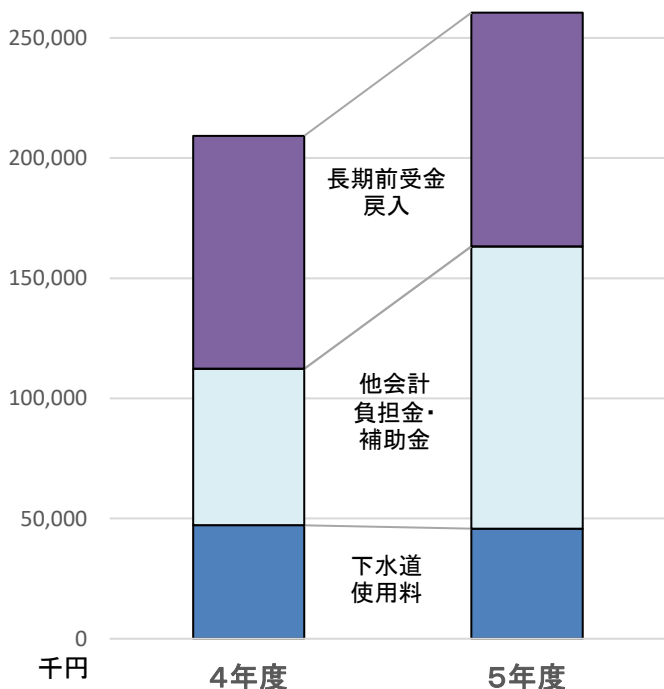
#### ○ 収益的収支

下水道使用料や町からの負担金等を財源として、汚水の処理や下水道管の維持管理等に使う予算です。

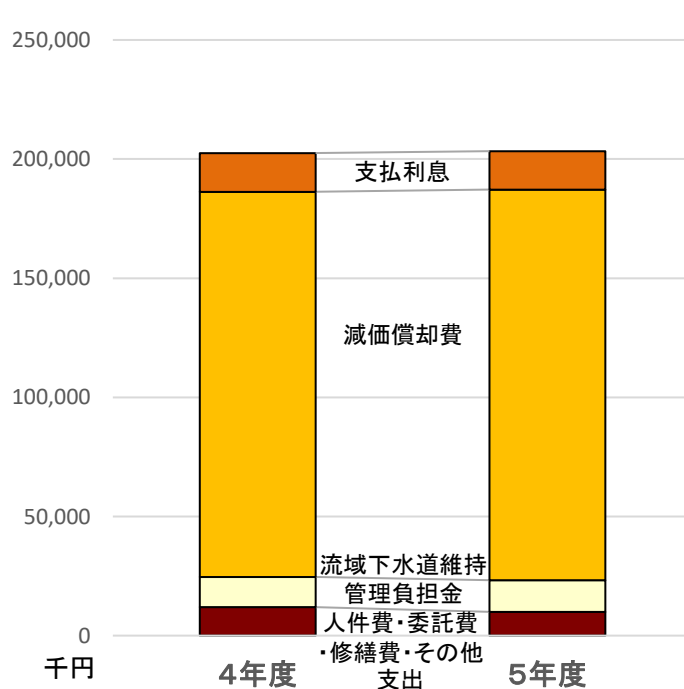
消費税込額

		予算額 (千円)	実績 (a) (千円)	予算 執行率 (%)	前年度同期 実績 (b) (千円)	前年度同期 からの増減 (千円)	増 減 率 (%) $\frac{(a)-(b)}{(b)}$
収 入	下 水 道 使 用 料	140,966	45,807	32.50	47,197	△ 1,390	△ 2.95
	他会計負担金・他会計補助金	149,743	117,382	78.39	65,109	52,273	0.00
	国 庫 補 助 金	5,000	0	0.00	0	0	0.00
	そ の 他 収 益	33	56	169.70	59	△ 3	△ 5.08
	長期前受金戻入額 (当期予定分)	194,382	97,191	50.00	96,905	286	0.30
	合 計	490,124	260,436	53.14	209,270	51,166	24.45
支 出	人 件 費	12,246	5,744	46.91	4,461	1,283	28.76
	委 託 費	49,130	1,945	3.96	2,163	△ 218	△ 10.08
	修 繕 費	13,865	823	5.94	4,070	△ 3,247	△ 79.78
	流域下水道維持管理負担金	50,000	13,290	26.58	12,667	623	4.92
	減価償却費 (当期予定分)	327,878	163,939	50.00	161,669	2,270	1.40
	支 払 利 息	30,794	16,116	52.33	16,249	△ 133	△ 0.82
	そ の 他 支 出	5,916	1,468	24.81	1,265	203	16.05
	合 計	489,829	203,325	41.51	202,544	781	0.39

収益的収支  
前年度上半期と今年度上半期 比較



収益的支出  
前年度上半期と今年度上半期 比較



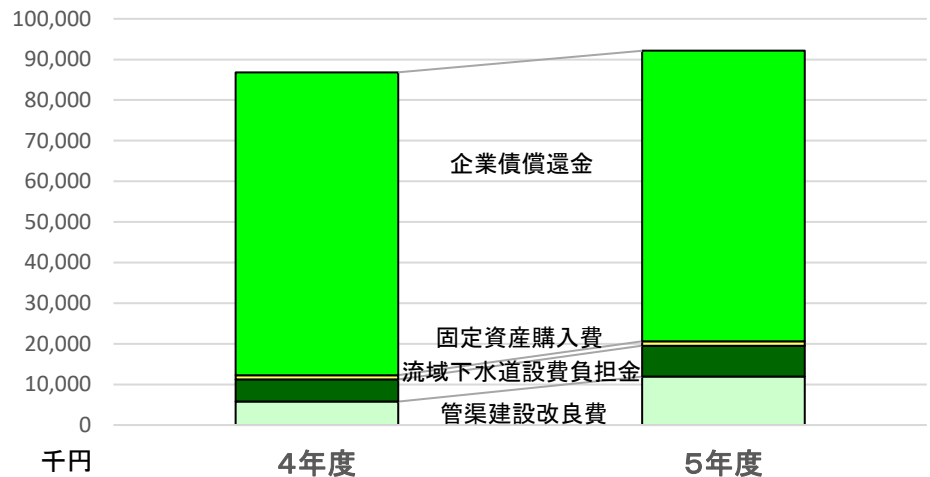
## ○資本的収支

借入する企業債や国庫補助金等を財源とし、下水道管や雨水幹線などの新設・更新工事の費用、企業債の償還等に使用する予算です。

消費税込額

		予算額	実績(a)	予算	前年度同期	前年度同期	増減
		(千円)	(千円)	執行率	実績(b)	からの増減	$\frac{(a)-(b)}{(b)}$
				(%)	(千円)	(千円)	率 (%)
収 入	負担金等	1	0	0.00	0	0	0.00
	企業債	100,200	0	0.00	0	0	0.00
	出資金	71,257	0	0.00	0	0	0.00
	国庫補助金	21,000	0	0.00	0	0	0.00
	合計	192,458	0	0.00	0	0	0.00
支 出	管渠建設改良費	183,213	11,910	6.50	5,767	6,143	106.52
	流域下水道建設負担金	15,252	7,620	49.96	5,445	2,175	39.94
	固定資産購入費	2,610	1,083	41.49	1,069	14	1.31
	企業債償還金	143,893	71,524	49.71	74,550	△ 3,026	△ 4.06
	合計	344,968	92,137	26.71	86,831	5,306	6.11

### 資本的支出 前年度上半期と 今年度上半期の 比較



※ 資本的収入については、前年度・今年度とも上半期の収入はありませんでした。

### 収益的収支・資本的収支 用語の解説

#### 「長期前受金戻入額」

過去に施設の建設や固定資産の取得などの財源とした国庫補助金や負担金を、減価償却の割合に基づき収益的収入に計上するものです。当年度に現金が入ったわけではありません。

#### 「減価償却費」

施設の使用による資産価値の減少を、耐用年数に基づく割合で毎年度の収益的支出に計上するものです。外部へ支払うものではありません。

#### 「企業債」「企業債償還金」

施設の新設や更新工事の財源とするために国などから借入する借金を、「企業債」といいます。各年度の返済額のうち、元金分は「企業債償還金」として資本的支出から支払います。利息については、収益的支出の「支払利息」で支払います。

収入について	支出について
<p>収益的収入について、町より繰入した負担金により、前年度同期より増加しています。</p> <p>下水道使用料については、昨年より若干の減少となっています。</p>	<p>収益的支出では、前年度同期とほぼ同額の状況となっています。</p> <p>資本的支出では、工事費の支払等により、前年度同期より増加しています。</p>
<p>人口の減少や施設の長期使用に伴う維持管理費増加について、年を追うごとに下水道事業経営への影響を増していきます。事業実施の中でコスト削減をすすめることや、計画的な施設更新を行うなど、長期的視野に立った健全な下水道事業の運営に努めます。</p>	